

国際交流サロン

1月の「世界の家族のごはん」はフランスとエクアドルです。さあ、世界のことを知って交流を始めましょう。

国名と都市	フランス モントルイユ	エクアドル コトパクス県ティンゴ
家族構成	両親、子ども10代(女2)	両親(2組)、乳児(女1)、幼児(男4)、子ども10代(女2)
一週間の食費	約3万4000円(約315ユーロ)	約2600円(約31,55ドル)
好きな食べ物(特徴)	アプリコットタルト、カルボナーラパスタ、牛肉の赤ワイン煮(飲料水・調理用水はミネラルウォーター)	鶏の水かき入りお米のスープ、キャベツとポテトのスープ(トウモロコシの粉の衣のバナナフライ)

*乳児(2歳未満)、幼児(6歳未満)、子ども(13歳未満)、子ども10代、子ども20代で表記



岩間第二小学校の国際理解教室

2月の国際交流情報

アメリカ・ニューヨーク州のこどもの美術館「World Awareness Children's Museum」の展示収蔵作品の子ども審査員を3名募集します。

応募先

〒309-1611 笠間市笠間1番地
一般社団法人 笠間市国際交流協会

会場/笠間稲荷神社・稲光閣

書類審査/応募希望の作文原稿用紙2枚
課題「絵をかく楽しみ」

申込期限/2月12日(火)

☆2月の日本語教室の開講日

2月2日(土)・9日(土)・16日(土)

(笠間公民館 午後1時～)

ニューヨーク州こども美術館展示収蔵品のこども審査員の募集

笠間市国際交流協会では、ニューヨーク州にあるこどもの美術作品専門の美術館「World Awareness Children's Museum」に永久所蔵される日本のこどもの美術作品を選考するこども審査員(10歳以上15歳以下)を3名募集します。世界80各国の子供の優れた絵画、工作が展示されています。公募作品を学識経験者、学芸員と一緒に同世代からの視点で選んでいただきます。応募方法の詳細については協会までお電話ください。

問合せ：一般社団法人 笠間市国際交流協会 TEL090-2761-8711 (木村 美枝子)



▲ 昨年の笠間市新年賀詞交換会の様子

市長コラム

おせち料理

正月といえばおせち料理です。昔はこの家でも松前づけ、伊達巻、昆布巻き、栗きんとんなどのおせち料理を作り、お客様にはお屠蘇を振舞う・・・日本のお正月の姿がありました。私も小さい頃は昆布巻きづくりなどを手伝われた思い出があります。最近は家で作ることも少なくなり、市販されている商品を購入するご家庭が増えてきていると聞いています。年末になるとデパートや通信販売等で、数万円のおせち料理のチラシをよく目にします。二

段、三段重ねの色鮮やかな料理が並んでおり、芸術品を見ているようであります。

しかし私は、やっぱり手作りのおせち料理が恋しく思います。年末の忙しい中で、市販のおせち料理は手軽で、便利であると思いますが、お正月は手作りの料理が良いのではないかと思います。

おせち料理は日本の伝統的な料理であり、守っていかねばならない食文化であります。手間のかかる料理が多いですが、若い人にぜひ、伝えていきたいと思っています。

笠間市は健康都市づくりを現在進めています。健康の第一歩は食であります。ヘルシーダーの皆さんの力をお借りし、食の改善を進めています。お正月はつつい食べすぎ、飲みすぎをしてしまう機会が増えます。

「腹八分目」バランスの取れた食生活が必要であります。皆さんには、今年も健康な一年となりますことをご祈念申し上げます。

笠間市長
山口伸樹